

高等部 国語科 学習指導案

日 時：令和4年1月29日（土）

9：30～10：20

場 所：本館2階 2年生教室

対 象：Cグループ 5名

授業者：近藤 潤一郎 田中 鮎子

1 題材名 『BIGBOSS になろうゲーム』で、説明書きの指示内容や様々な条件を読んで行動しよう

2 題材設定の立場

(1) 題材について

生徒観	<p>本グループは1年生2名(B、F)、2年生1名(J)、3年生2名(S・V)の計5名で構成している。「ファイルと筆記用具を持って会議室に行きましょう」などの指示や説明を聞いて行動でき、休み時間には休日の様子を「映画を見た」「最高だった」などと友だちと話す生徒たちである。一方、簡単な文章の意味の読み取りに時間がかかったり、全て読まずに意味を予想して行動したりする生徒たちである。</p> <p>このような生徒たちだが、これまでの学習で繰り返し取り組んだことは身につけており、興味・関心のある課題やこれからの生活で必要と実感できる学習に積極的に取り組む様子がみられる。その反面、語彙が少なく、知らないことばの入った文章はとぼして読んだり、やや難しい課題になると「わからない」とすぐに教師に頼ったりして、自分で考えたり、調べたりすることが苦手な生徒たちでもある。</p>
系統観	<p>本年度は、話や文章に含まれる情報の扱い方に関する題材で、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することを「聞くこと・話すこと」「書くこと」「読むこと」の領域の順に扱った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">『新入社員になって仕事をしよう』で、色、数、順序などの入った指示を聞いて、書類をそろえる (聞くこと・話すこと)</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">『伝えたいことを作文として発表しよう』で、したことや見たことを詳しく書いたり、伝わりやすい文章の構成を考えて書いたりする (書くこと)</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">『お知らせの内容を読み取ろう』で、語や語句の意味を理解し、必要な情報を読み取る (読むこと)</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">『必要な情報を読んでステージをクリアし、BIGBOSS になろうゲーム』で、説明書や注意書きから必要な情報を読み取る (読むこと)</div> </div> <p>本題材では、日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動すること(中学部1段階)、日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動すること(中学部2段階)の内容を学習する。これまで「聞くこと・話すこと」「書くこと」の領域で身につけた知識・技能を、「読むこと」の領域で、思考・判断・表現することを通して、生きて働く「知識・技能」としていきたい。</p>
指導観	<p>本グループには、卒業を間近に控えた生徒やこれまでの職場実習から卒業後の生活に意識が向いている生徒が多数いる。家庭では調理や洗濯などをする、地域生活では公共交通機関や娯楽施設を利用するなど生活の広がりが見られ、そのような活動や場所で出会うであろう注意書きや説明書を読み、正しく行動できるようになってほしいと願い、本題材を設定した。</p> <p>これまでの調べ学習で、タブレット端末などの情報端末を活用してニュースや記念日などを調べることが定着していることから情報端末を利用して語句を調べたり、休み時間の友だちとの会話の様子から友だちと話し合い、自己とは異なった考え方に触れて新しい考えに気づいたりするようにしたい。</p> <p>仕方を理解すると考え方がわかる生徒は、支援をすることで「できる」経験を重ね、徐々に一人で判断するような活動を増やすように、教師に確認を求めて学習を進める生徒は、自信をもって自分で正誤判断できるように、学習の振り返りからはじめて新規の課題、易から難へと進める。また、読むことを苦手と感じている生徒には、読みを支援するアプリケーションを活用して学習を進めていきたい。</p>
教材観	<p>本グループには、スーツやネクタイなどの社会人の姿にあこがれている生徒が多いことから、本題材は、かっこいい社会人になるためにステージの課題をチームでクリアして、アイテムを入手する仕組みのゲームにした。課題には、これまで学んだ順序などの表現に加え、注意書きや説明書に見られる『禁止(～しないでくださいなど)』『絶対(必ず～をしてくださいなど)』『必要(～ができたなら～をしてくださいなど)』の表現を扱うようにした。また、回答の正誤は相手チームが判断し、これまで学んだ伝わりやすく話したり、相手の話を受け止めたりするような活動を設け、対話的な学びの場としたい。</p>

(2) 生徒の実態と指導の方向

生徒の実態	
B	<p>【一般的な実態】 CA : 16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語で話す、教師が伝える短い文章の指示を聞いて、指示通りに行動する。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業学習などで、手順の一つ一つを覚えることで、全体の手順やそうすることの意味やよさを理解する。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの書いたものや姿を見て、同じように記入したり、行動したりすることがある。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つ程度の視点と順序を表す語句（数字、接続詞）が入った短い指示書きを読んで、おおよそ指示通りに行動することができる。 ・(a)「①プリントを2枚取る②プリントを2枚重ねて折る③プリントを封筒に入れる」の指示書きを読み、①を行った後、②では、①と別のプリントを2枚取り、③で計4枚のプリントを1枚ずつに半分に折り、2つの封筒に2枚ずつ入れる。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(a)の内容の末尾に、「※作業前に必ず手を洗ってください」「※封筒の裏に氏名を記入してください」と絶対条件を加えた指示書きを読んで、絶対条件の行動を行わない。 ・ピンクのペンがない状況で、(b)「①△を青に塗る②□を赤に塗る③○をピンクに塗る」の指示の後に「※ピンクがない場合は、○を赤に塗ってください」と場合+絶対条件を加えた指示書きや、「※ピンクがない場合は、色を塗らないでください」と場合+禁止条件加えた指示書きを読んで、どちらの場合も、①②を行い、③では、○を赤で塗ってから青を重ねて塗る。 <p>【指導の方向】</p> <p>本題材では、仕方を理解するとその意味がわかるBの実態から、指示全体の内容の連続性を理解できるように、説明書きを読んで教師と一緒に行動し、仕方を理解してから、指示全体の内容が連続する1つの事柄であることを意味づけるようにする。その上で条件や場合が入った説明書きを扱い、全体にかかるもの、一部にかかるものを易から難へと段階的に取り上げ、できることを積み重ねて自分で判断できるようにしていく。また、フローチャートで条件や場合を視覚化し、順序の一部として考えられるようにする。</p>
J	<p>【一般的な実態】 CA : 17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の指示を聞いて、指示通りに行動する。また、指示の後に、「何本ですか」などと、不明な点を質問して行動することもある。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉指示の後、指示についての問いに答えなかったり、「わかりません」と言って行動しなかったりすることがある。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題や活動に取り組むときに、教師に「～ですか」と仕方を確認しながら取り組むことがある。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(a)「①プリントを●枚取る②プリントを●枚重ねて折る③プリントを封筒に入れる」と書かれた指示書きを読んで、プリントを●枚取って重ねて折った後、③で1つの封筒に入れたり、プリントを1枚ずつ取って●枚折った後、③で1枚ずつ●つの封筒に分けて入れたりする。 ・(a)と同様の内容に加え、「※封筒が3つできたら、～先生に渡してください」の必要条件が書かれた指示書きを読んで行動するとき、●つの封筒に●枚のプリントを1枚ずつ分けて入れる。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青と黄の封筒がある状況で、(a)内容の末尾に、「※青い封筒には入れないでください」と禁止条件が書かれた指示書きを読んで行動するとき、③で、黄の封筒にプリントを入れる。その次の問いで(a)と同様の内容に「プリントを青の封筒に入れてください」と書かれた指示書を読んで行動するとき、③で黄の封筒にプリントを入れる。 ・(a)と同様の内容に加え、「※作業前に必ず手を洗ってください」と絶対条件が書かれた指示書きを読んで、②のプリントを取って折った後、「気づいちゃった」と言って途中で手を洗いに行く。

J	<p>【指導の方向】 本題材では、はじめに、指示内容の連続性の理解を深めるために、条件や場合が入った説明書きを扱い、指示内容が連続する一つの事柄であることを意味づけるようにする。その際、まずは条件を含む説明書きの全体を読んでから行動するようしたり、行動した結果を自分で正誤判断し指示内容と行動のつながりが明確になる課題を設定したりして、説明書きの語句や全体の内容に十分に目を向けて読むことの必要性を感じられるようにする。</p>
S	<p>【一般的な実態】 CA : 18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人でバス通学をしている ・日課や掲示を見て、活動場所への移動、必要なものの準備、活動に応じた衣服への更衣などをする。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順や仕方を視覚的に知らせることで、仕方を理解して取り組むことができる。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめての活動の際に、見通しをもてず、教師の支援を待つことが多い。 ・よかったことを具体的に認められることで、自信をもって意欲的に取り組めることが多い。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(a)「①プリントを2枚取る②プリントを2枚重ねて折る③プリントを封筒に入れる」と書かれた指示書きを読んで、指示通りに行動できる ・上記(a)の指示の下に「※作業前に必ず手を洗ってください」「※封筒の裏に名前を書いてください」と注意事項が書かれているとき、注意書きの指示は行わない。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(a)の指示の下に「※青い封筒には入れないでください」と注意書きが書かれているとき、注意書きを音読した後で、プリントが入った青い封筒をその場に置く。 ・ピンクのペンがない状況で、(b)「①△を青に塗る②□を赤に塗る③○をピンクに塗る」の指示の後に「※ピンクがない場合は、○を赤に塗ってください」と場合+必要条件が書かれた指示書きを読んで、はじめに△を青に塗り、次に□を赤に塗り、最後に○を黒で塗る。 ・「小中学生は○をつけてください」の指示を読んで、○をつける ・「18歳未満の方は○をつけてください」の指示を読んで、○をつける
	<p>【指導の方向】 全体や一部にかかる条件が指示内容であることを理解し、条件に沿って、指示内容を行動に移すことができている。また、条件の内容に自分があてはまるかを考えて判断するような場合に正しく判断することができている。</p> <p>本題材では、条件や場合の入った説明書を取り扱い、全体にかかるもの、一部にかかるものを易から難へと段階的に取り上げ、できることを積み重ねて自分で判断できるようにしていく。活動の際は、条件を含む説明書き全体を読んでから行動するようにする。また、できた場面を捉えて認めたり、できた内容を基に友だちの正誤判断を行う場面を設けたりすることで、理解を深め、自分で判断して行動できるようにしていく。</p>
E	<p>【一般的な実態】 CA : 16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課や掲示を見て、活動場所への移動、必要なものの準備、活動に応じた衣服への更衣などをする。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業学習などで、一つ一つの手順や仕方を確実に覚えることで、手順の全体を理解していく。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題や活動において、言い方や仕方を知らせて認めることで、意欲的に取り組むようになる。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(a)「①プリントを○枚取る②プリントを○枚重ねて折る③プリントを封筒に入れる」の末尾に「※封筒が3つできたら、～先生に渡してください」の必要条件が書かれた指示書きを読んで、①②をした後、③では、○つの封筒に○枚のプリントを1枚ずつ分けて入れる。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(a)と同様の内容に加え、「※作業前に必ず手を洗ってください」「※封筒の裏に必ず氏名を記入してく

	<p>ださい」と絶対条件が書かれた指示書きを読んで、プリントを○取って重ねて折った後、行動の途中に手を洗いに行く。また、③を行った後、封筒の裏に氏名を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小中学生は○をつけてください」の指示書きに「×」を書き、「18歳未満の方は○をつけてください」の指示書きに、「×」を書く。 ・「けがの恐れがあるので、箱の上には乗らないでください」の指示書きを読んだ後、なぜ乗ってはいけないかを問うと、「危ないから」と答える。
E	<p>【指導の方向】</p> <p>本題材では、禁止条件、絶対条件、必要条件、分類+必要（禁止）条件、理由などを段階的に扱う中で、説明書きの内容に沿って行動する必要性を実感できるようにする。その際、条件を含む説明書き全体を読んでから行動するようにする。また、できた場面を捉えて認めたり、できた内容を基に友だちの正誤判断を行う場面を設けたりして、理解を深めることで自分で判断して行動できるようにしていく。さらに、実生活で想定される熟語を含む説明書きを扱い、わからない熟語はタブレット端末で調べ、自分で判断できることを増やしていく。</p>
U	<p>【一般的な実態】 CA : 17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文を音読するときに、漢字を読み間違えたり、読み飛ばしたりすることがある。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字にふりがなを記し、文節に空白を入れ、文字を拡大した文章を提示すると、文字を指で追って読み、内容をおおむね理解できる。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないときには、自分から質問をする。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(a)「①プリントを●枚取る②プリントを●枚重ねて折る③プリントを封筒に入れる」の末尾に「※封筒が3つできたら、～先生に渡してください」の必要条件が書かれた指示書きを読んで、①②をした後、③では、●つの封筒に●枚のプリントを1枚ずつ分けて入れて渡す。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(a)の指示の下に「※青い封筒には入れないでください」と注意書きがあるとき、青い封筒からプリントを出して、封筒を元に戻し、プリントをその場に置く。 ・上記(a)の指示の下に「※作業前に必ず手を洗ってください。」「※封筒の裏に名前を書いてください」と注意書きがあるとき、手は洗わずに、封筒の表に名前を書く ・「小中学生は○をつけてください」の指示書きに「○」、「18歳未満の方は、○をつけてください」の指示書きに「○」を書く。 ・「けがの恐れがあるので、箱の上には乗らないでください」の指示書きを読んだ後、なぜ乗ってはいけないかを問うと、「箱がこわれる」と答える。 <p>【指導の方向】</p> <p>全体や一部にかかる絶対条件が指示内容であることへの理解が不十分であり、禁止条件があるときに、本文の指示と条件を関連づけたり、条件の内容に自分が該当するかを判断したりすることができていない。</p> <p>本題材では、条件や場合が入った説明書きを扱う。全体にかかるもの、一部にかかるものを易から難へと段階的に取り上げ、できることを積み重ねて自分で判断できるようにしていく。また、卒業後の社会生活に向けて、漢字にふりがなのない説明書きなど、実際の生活に近い形で課題を提示し、読めない文字があり困ったときには、テキスト2ボイス（画像として取り込んだ文字を読み上げるアプリケーション）を用いて、指示書きの漢字を音声化し、それを聞き取ることで、指示書きの内容を理解できるようにする。</p>

3 題材目標 ※「知識及び技能」を「知」、「思考力・判断力・表現力等」を「思」で示している

題材目標		学習指導要領の扱う内容
B	<p>知</p> <p>いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながるのがある説明書きを読んで行動するとき、つながっている語句がわかり、説明書きの視点と順序に沿って行動する</p>	<p>中学部1段階</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>イ(ア)事柄の順序など、情報と</p>

B	思	『BIGBOSS になろうゲーム』で、説明書きを読んで行動するとき、条件について考え、条件がある場合は、指示内容と条件に共通する語句を判断し、その語句に○をつけ、ものの状況に応じて、条件の「ある」もしくは「ない」に○をつけた後、条件の行動に○をつけその行動をする <扱う条件：絶対（順序性なし）、場合+絶対、場合+禁止>	<p>情報との関係について理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 Cウ日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動すること。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う</p>
	知	必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、条件が指示内容全体にかかり、繰り返しを要求していることがわかり、条件に沿って、一連の指示内容を指定回数だけ行動する	
J・S	『BIGBOSS になろうゲーム』で、様々な条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、条件について考え、条件の種類を判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする <J 条件：絶対・禁止（全体・一部にかかる）、必要、理由> <S 条件：絶対・禁止（全体・一部にかかる）、必要、分類>		
E・U	『BIGBOSS になろうゲーム』で、様々な条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、条件について考え、条件の種類を判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする <条件：絶対・禁止（全体・一部にかかる）、必要、理由、分類>		
全	学	ことばがもつよさに気づくとともに、国語で考えたり、伝え合ったりしようとする	

4 題材計画 ※資料末尾にA3別紙で記載

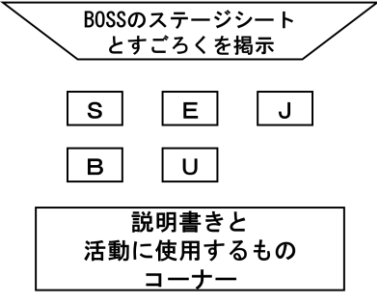
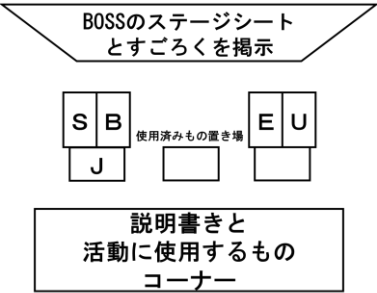





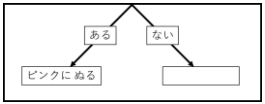
5 本時案（全8時間の4時間目）

(1) 題目 『BIGBOSS になろうゲーム』で、説明書きの指示内容と場合+絶対（禁止）条件や指示内容全体（一部）にかかる絶対（禁止）条件を読んで行動しよう

(2) 本時のめあてと評価規準

観点別の本時のめあて		評価規準	
B	思	『BIGBOSS になろうゲーム』で、場合+絶対条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、教師と一緒に指示内容と条件に共通する語句に○を付け、「BOSS の Help カード」を条件の○を付けた語句の下に置いて「ある・ない」を選択した後、条件の語句に着目して、行動を判断し、条件の行動を BOSS の Help カードの□に記入してその行動をする	2問両方で、教師と矢印を引いて示した行動を表す文章を、自分から『BOSS の Help カード』の□に記入し、その行動をする
J・S	思	『BIGBOSS になろうゲーム』で、一部の指示内容にかかる絶対（禁止）条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、条件について考え、行動の順序を判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする	条件の行動の理由を問われたとき、条件の内容も読んで行動する旨の内容を伝える
E・U	知	必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、条件が指示内容全体にかかり、繰り返しを要求していることがわかり、条件に沿って、一連の指示内容を繰り返し●回行動する	6問行い、後半の3問で説明書き通りに行動する
	思	『BIGBOSS になろうゲーム』で、指示内容全体（一部）にかかる絶対（禁止）条件や必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき、条件について考え、条件の種類を判断し、説明書きの視点と順序に応じて行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする	必要条件が加えられた説明書きを読んで行動した後、行動や友だちの正誤判断の理由を問われたとき、「同じことを●回するから」などの繰り返しに関する内容を伝える
全	学	A3資料「4 題材計画」に記述した主体的な姿が見られるかどうかで題材終了後に評価を行う	

(3) 場面設定と準備物

場面設定		意図と工夫点
<p><展開></p> 	<p><発展></p> 	<p>展開は個別の学習内容を身につけるために各机上で説明書きを読むようにした。発展では、チームの友だちの活動を見たり、正誤判断したりして学習したことを深められるように、チームごとに机を配置した。また、自分から繰り返し取り組めるように、説明書きなどを置く場所は固定している。</p>
準備物		
		
<p>教具名 ステージシート</p> <p>意図と用途</p> <p>学習の成果がわかり、意欲的に取り組めるように、クリアしたステージの枠にすごろくのコマを置いて使用する。</p>	<p>教具名 コマ</p> <p>意図と用途</p> <p>学習の進み具合がわかり意欲的に取り組めるように、ステージシートとすごろくに置いて使用する。</p>	<p>教具名 Text 2Voice</p> <p>意図と用途</p> <p>読めない漢字が自分で読めるように、読めない漢字を画像として取り込み音声化するために使用する。</p>
		
<p>教具名 すごろく</p> <p>意図と用途</p> <p>学習の見通しをもてるように、問題数に応じた枠を設定している。また、意欲的に取り組めるように、枠にコマを置き、自分や相手チームの進み具合がわかるようにした。</p>	<p>教具名 お金とかっこいい社会人アイテム</p> <p>意図と用途</p> <p>学習に意欲的に取り組めるように、正解したらお金がもらえ、アイテムと交換できるようにしている。</p>	<p>教具名 BOSS の Help カード</p> <p>意図と用途</p> <p>J が説明書きの条件の行動を自分で判断できるように、フローチャートで行動を選択するようになっている。</p>

(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載

4 題材計画

		一次		二次			三次			
時数		1	2	3	4	5	6	7	8	
B	知技	場面	いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながりのある説明書きを読んで行動するとき							
		できた姿	説明書きを読んで教師と一緒に指示内容に沿って行動することで、指示内容につながりがあることがわかる		つながっている語句がわかり、説明書きの視点と順序に沿って行動する					
	思判表	具体的状況	『BIGBOSS になろうゲーム』で、説明書きを読んで行動するとき							
		表出像	[いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながりのあるもの]	[順序性のない絶対条件が加えられたもの]	[場合+絶対条件が加えられたもの]	[場合+禁止条件が加えられたもの]	[場合+絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[これまで扱ったもの]		
J	知技	場面	『BIGBOSS になろうゲーム』と説明書きを読んで指示内容に沿った行動をする課題の仕組みを知り、意欲をもつ			いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながりのある説明書きを読んで行動するとき				
		できた姿	説明書きの視点と順序に沿って行動する			必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき				
	思判表	具体的状況	[いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながりのあるもの]			[指示内容全体にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[一部の指示内容にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[指示内容全体(一部)にかかる絶対(禁止)条件や必要条件が加えられたもの]	[理由+条件が加えられたもの]	[これまで扱ったもの]
		表出像	指示内容について考え、指示内容全体が連続する事柄であると判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動する		条件について考え、行動の順序を判断し 説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする		条件について考え、条件の種類を判断し		理由が含まれる指示内容に着目し、指示内容にある語句が理由であることを判断し、理由に沿って行動した後、その理由を説明する	
S	知技	場面	いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながりのある説明書きを読んで行動するとき			必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき				
		できた姿	説明書きの視点と順序に沿って行動する			条件に沿って、一連の指示内容を指定回数だけ行動する				
	思判表	具体的状況	[いくつかの視点と順序を表す語句が入った指示内容につながりのあるもの]			[指示内容全体にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[一部の指示内容にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[指示内容全体(一部)にかかる絶対(禁止)条件や必要条件が加えられたもの]	[分類+条件が加えられたもの]	[これまで扱ったもの]
		表出像	指示内容について考え、指示内容全体が連続する事柄であると判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動する		条件について考え、行動の順序を判断し 説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする		条件について考え、条件の種類を判断し		分類が含まれる指示内容にある語句について考え、自分の分類を判断し、説明書きの視点と順序に応じて行動する	

E	知技	場面			必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき						
		できた姿			条件に沿って、一連の指示内容を指定回数だけ行動する						
	思判表	具体的状況	[指示内容全体にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[指示内容の一部にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[指示内容全体(一部)にかかる絶対(禁止)条件や必要条件が加えられたもの]	[分類+条件が加えられたもの]	[理由+条件が加えられたもの]	[これまで扱ったもの]			
		表出像	条件について考え、行動の順序を判断し		条件について考え、条件の種類を判断し	分類が含まれる指示内容にある語句について考え、自分の分類を判断し、説明書きの視点と順序に応じて行動する	理由が含まれる指示内容に着目し、指示内容にある語句が理由であることを判断し、理由に応じ行動した後、その理由を説明する	条件について考え、条件の種類を判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする			
U	知技	場面			必要条件が加えられた説明書きを読んで行動するとき						
		できた姿			条件に沿って、一連の指示内容を指定回数だけ行動する						
	思判表	具体的状況	[指示内容全体にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[指示内容の一部にかかる絶対(禁止)条件が加えられたもの]	[指示内容全体(一部)にかかる絶対(禁止)条件や必要条件が加えられたもの]	[分類+条件が加えられたもの]	[理由+条件が加えられたもの]	[これまで扱ったもの]			
		表出像	条件について考え、行動の順序を判断し		条件について考え、条件の種類を判断し	条件も含めて指示内容を読み取り、分類が含まれる指示内容にある語句について考え、自分がその分類に当てはまるかを判断し、説明書きの視点と順序に応じて行動する	条件も含めて指示内容を読み取り、理由が含まれる指示内容に着目し、指示内容にある語句が理由であることを判断し、理由に応じ行動した後、その理由を説明する	条件も含めて指示内容を読み取り、条件について考え、条件の種類を判断し、説明書きの視点と順序に沿って行動したり、友だちの行動の正誤判断をしたりする			
主体的な姿	粘り強さ 学習調整	○自分から説明書きを取りに行く ○説明書きを読んで自分から行動する ○不正解の時に教師に質問したり、友だちが伝える間違っている点について考えたりして、再度取り組む ○友だちの行動に注目し、正誤判断をする ○正解したり、自分の順番がきたりしたら、次の説明書きを取りに行く ○教具を使わずに指示内容を読み取る (J)									
配慮的に扱う内容		○語彙 (E)									

(4) 展開

学習活動	教師の意図と働きかけ				
	B	J	S	E	U
1. 前時の学習を振り返り、本時の学習を知り、意欲をもつ。	○前時までの学習を振り返るために、それぞれの読み取る際のポイントを確認する。 ㊦条件も指示内容であることについて	㊦条件が一番はじめに行動する指示内容になる場合について	㊦条件を含めた説明書きの行動する順序について	㊦条件が一番はじめに行動する指示内容になる場合について	㊦条件を含めた説明書きの行動する
2. 説明書きを読み取り、指示内容や条件に沿った行動をする。	○自分から繰り返し課題に取り組めるように、本時の課題となるそれぞれの説明書きのプリントを取りに行くように伝える。 ○①教師と一緒に指示内容と条件に共通する語句に○を付けた後、条件の○の語句の下に『BOSSのHelpカード』を置く。②教師と一緒にものの状況を見て、カード内の「ある・ない」に○を付けた後、条件の「ある・ない」に○を付ける。③「ある・なし」を選択した後の行動を判断できるように、教師と一緒に条件の「場合は」の語句上に「→」を書き、条件にある行動を表す文章に○を付け、『BOSSのHelpカード』の□にその文章を書き、その行動をするように伝える。 ・条件にある行動をしない場合には、□に書いた行動をする必要性がわかるように、教師が説明書きを読み上げた後、その行動の見本を示し、□に書いた行動を表す文章に目を向けられるようにする。 ○□に書く文章がわかり、行動を判断できるように、①②を教師と一緒に行った後、③を行うように伝える。 ・□に行動を表す文章を書かない場合には、書くことで行動を判断できるように気づけるように、教師が③で書いた「→」を指でなぞった後、行動を表す文章を強調して読んだ上で□に文章を書いてその行動をし、一連の仕方を伝える。	○条件に目を向けて行動することができるように、どうすると指示通りの行動ができるかを問いかけた後、説明書きを読んで行動するように伝える。 ・説明書きを最後まで読まずに指示内容ははじめの内容から取り組み、途中で条件に気づく発言をしたり、前の条件と同じ行動をしたりする場合には、条件も指示内容であり、条件まで読んでから行動すると説明書きに沿った行動ができることに気づくように、どうすると指示通りの行動ができるかを再度問いかける。 ・「○○(何色の封筒か)がわかりません」などと言う場合には、条件がかかる指示内容を判断できるように、教師が条件の指示内容と共通する語句を強調して読み上げた後、どの指示内容にその語句があるかを問いかける。	○行動する順番がわかるように、条件の行動をいつするとよいか問いかけた後、説明書きを読んで行動するように伝える。 ・条件の行動をしない場合には、条件も指示内容であり、条件まで読んでから行動すると説明書きに沿った行動ができることに気づくように、どの部分を読むと指示通りの行動ができるかを再度問いかける。 ・条件の行動をする順番が違う場合には、「～の前に」など、行動の順序の手がかりとなることばに注目できるように、条件の行動をいつすると、指示通りの行動ができるかを再度問いかける。	○読み取った行動の結果と正解の違いに目が向くように、自分で取り組むように、また、正解の見本と自分の行動の結果(できたもの)を比べるように伝える。その上で、条件が指示内容全体の繰り返しを要求していることがわかるように、正解の見本を示し、もう一度説明書きを読んで行動するように伝える。 ・前の仕方と同じ行動をしたり、「わかりません」などと言ったりした場合には、条件が繰り返しを要求していることがわかるように、指示内容を一通り行動するようにする。その後、条件を読み、その教師と一緒に行動するようにし、必要条件の意味を伝える。 ○必要条件の読み取りを深めるために、説明書きを読んで一人で取り組むようにして様子を見る。条件を読んで、指示内容を繰り返し行動した場合には、条件を読み取れたことを認め、条件と行動のつながりを意味づける。	○読み取った行動の結果と正解の違いに目が向くように、自分で取り組むように伝えた後、正解の見本と自分の行動の結果(できたもの)を比べるように伝える。 ・一連の動作だけを行い、条件である繰り返しを行わない場合には、条件が繰り返しを要求していることがわかるように、指示内容を一通り行動するように伝える。その後、条件を読み、教師と一緒に行動するようにし、必要条件の意味を伝える。 ○必要条件の読み取りを深めるために、説明書きを読んで一人で取り組むようにして様子を見る。条件を読んで、指示内容を繰り返し行動した場合には、条件を読み取れたことを認め、条件と行動のつながりを意味づける。
3. 『BIGBOSSになろうゲーム』の説明書きを読み取り、指示内容や条件に沿って行動をしたり、チームの友だちの行動の正誤判断をしたりする。	○読み取った通りに行動することが生きる経験を重ねるために、『BIGBOSSになろうゲーム』 ○①②と③の「→」を書くまでを教師と行った後、行動を表す文章を判断できるように、説明書きを読むように伝えて様子を見る。□にその行動を書いて、説明書きの行動をした場合には、説明書き通り行動できたことを認め、□に行動を書いてその行動することのよさを意味づける。	○条件も指示内容であることへの理解を深めるために、説明書きを読んで行動したり、チームの友だちの行動の正誤判断をしたりするように伝えて様子を見る。説明書き通りに行動したり、正しく正誤判断したりした場合には、できたことを認め、条件まで読んで行動することのよさを意味づける。	○条件も指示内容であることへの理解を深めるために、説明書きを読んで行動したり、チームの友だちの行動の正誤判断をしたりするように伝えて様子を見る。説明書き通りに行動したり、正しく正誤判断したりした場合には、できたことを認め、条件まで読んで行動することのよさを意味づける。	○必要条件の読み取りの理解を深めたり、条件の種類を判断して行動したりできるように、必要条件に加え、前時までに学習した条件も扱い、説明書きを読んで行動したり、相手チームの正誤判断をしたりするように伝えて様子を見る。	○必要条件の読み取りの理解を深めたり、条件の種類を判断して行動したりできるように、必要条件に加え、前時までに学習した条件も扱い、説明書きを読んで行動したり、相手チームの正誤判断をしたりするように伝えて様子を見る。
4. 本時の学習内容を振り返り、わかったことを発表する。	○学習を振り返るために、本時でわかったことを発表するようにし、できるようになったことを認める。 ○成果を振り返ったり、次時への期待をもったりできるよう、『BIGBOSSになろうゲーム』で獲得したアイテムやコマの進み具合を互いに見合ったり、次に獲得できるアイテムの一部を紹介したりして本時を終える。				